

平成2年度 和歌山県文化功労賞

まつ なが ゆう けい
松 長 有 慶

住 所：和歌山県伊都郡高野町

昭和53年 文学博士

出 身 地：和歌山県伊都郡高野町

生 年：昭和4年

◎業績及び経歴

昭和26年高野山大学密教学科卒業後、同大学に勤務。また、高野山真言宗内地留学生として、東北大学に留学。密教学の研究に精励する。昭和45年に高野山大学教授となり現在に至る。

専門は、インド・チベットの密教学。昭和37年に第1回東北印度学宗教学会賞受賞、同38年に第6回日本印度学仏教学会賞受賞、同53年に第17回密教学芸賞受賞など、学会で認められる。この分野の研究は、30年以上になり、日本密教学会理事や日本印度学仏教学会理事などを歴任、学会に重きをなす。

昭和53年「密教経典成立史論」において、九州大学より文学博士号を取得。著書には、『密教の歴史』『マンダラー西チベットの仏教美術』『タントラ 東洋の知恵』などがある。

また、2度にわたるチベット仏教文化の調査団長を務めるなど、密教学への関心を大いに高め、近代の西洋文明に対する東洋思想の見直しの機会を作った。

昭和58年から同62年まで高野山大学長を務めた後、現在は、高野山大学密教文化研究所所長として、密教学を通して東洋思想の普及に努め、文化の向上・発展に尽くした功績は、大きいものがある。